

## 研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR19029
1 研究課題名	日本人肥満 2 型糖尿病に対する腹腔鏡下スリーブバイパス術～非寛解、寛解後再発例についての検討～
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 減量・糖尿病外科センター 医師 笠間 和典 研究分担者 減量・糖尿病外科センター 医師 関 洋介研究分担者 減量・糖尿病外科センター 医師 鍋倉 大樹
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2019年10月31日 情報等調査期間 開始：2007年4月1日 ～ 終了：2019年10月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	肥満・代謝外科手術は、体重減少および 2 型糖尿病をはじめとする関連健康障害の改善に優れた効果を発揮することが分かっており、国際的にも、2 型糖尿病を有する肥満症患者さんに対する治療法のひとつとして推奨または考慮すべきと位置付けられています。 腹腔鏡下スリーブバイパス術は、他のバイパス系手術と同様に、重症の 2 型糖尿病患者さんに対する非常に有効な治療オプションですが、そのスリーブバイパス術を以てしても 2 型糖尿病が治らない、または治ったとしても再発してしまう患者さんがいらっしゃいます。 本研究では、そうした患者さんにどのような臨床的背景があるのかを明らかにすることを目的としています。 2007年4月から2016年4月までの間に、当院で腹腔鏡下スリーブバイパス術を受けた 2 型糖尿病を有する高度肥満症患者さん 196 名を対象に、既に蓄積された術前・術後経過の各種検査データを分析し、検討を行います。
5 研究の対象 となる方	2007年4月～2016年4月の間に、当院減量外科において腹腔鏡下スリーブバイパス手術を受けた方のうち、術前に 2 型糖尿病と診断されている方
6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u>	上記 4 に記載の通り
7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)</u>	血液検査データ、生理検査データ、画像検査データ、服薬の有無及び種類
8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u>	上記 2 と同じ範囲の者
9 <u>試料・情報の 管理責任者</u>	上記 2 に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 四谷メディカルキューブ減量・糖尿病外科センター 医師 鍋倉大樹 〒102-0084 東京都千代田二番町 7-7 t-nabekura@mcube.jp

